

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部保育課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立千防保育所	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市戸畑区千防一丁目1番15号		
	設置目的	児童福祉法第39条に規定される保育所として、保育を必要とする乳児又は幼児を保育することを目的とする児童福祉施設である。		
利用料金制		<input checked="" type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制	有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制
指定管理者	名 称	社会福祉法人 北九州市保育事業協会		
	所 在 地	北九州市八幡東区中央2丁目1番1号		
指定管理業務の内容		保育所の管理及び保育の実施		
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント						
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み						
(1) 施設の設置目的の達成						
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。						
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。						
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。						
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
[所見]						
① 指定管理業務の実施状況						
延べ利用 児童数 (人)	参考（更新前）				R3年度	R4年度
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
実績	1,587	1,505	1,469	1,496	1,458	1,506
※ <input type="checkbox"/> ・・・評価対象年度（以下、同じ）						
<ul style="list-style-type: none"> ・保育方針が分かりやすく明示され、通常保育のほか子育て支援の取組みなど、計画に則って保育所運営が行われている。 ・優しさ・思いやりをテーマにした話や絵本を読む「心の講話」を毎月行っている。 ・子どもたちへは、日々の活動の中で、菜園活動や給食調理員の食に関する話を聞くなどの多くの機会を設けることで、子ども達の食への関心を深めることに繋げた。 ・プルタブやペットボトルキャップ、ダンボールの収集や周辺地域の清掃活動を行うエコクリーン活動を実施し、意識の向上に取り組んでいる。 ・専門講師を招いた体操教室を実施し、健康な体力づくりのみならず、協調性や集中力を培う取組みを行っている。 ・近隣の小学校とプレゼント交換や手紙の交換を通して交流を行っている。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、給食時はパーテーションを設置したり、廊下等に予防を促す張り紙を貼ったりしている。 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、例年の園行事が昨年に引き続き中止になったものがあるが、クラス単位で行うなど実施に向けた工夫を行った。 						
各行事の実 施状況（回）	参考（更新前）				R3年度	R4年度
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
園行事	23	26	15	13	13	14
地域活動	15	16	13	2	2	2

計	38	42	28	15	15	16
---	----	----	----	----	----	----

※令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、地域活動はほぼ中止となり園行事もクラス単位で行うことが多かった。

- ② 利用促進を目的としている施設ではないため、該当なし。
- ③ 該当なし。
- ④ 施設の性質上、保育所入所等については行政で決定するため、該当なし。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

① 利用者の満足度

保育内容についての利用者の満足度を問うアンケートでは、すべての項目の平均で91.8%という結果であり、保護者の満足度は高いものの、「保育の状況」について、他の項目に比べ評価が低くなっているため、引続き、保育の資質向上に努めていただきたい。
アンケート回答者80名、回収率76.2%

項目 (単位 %)	参考 (更新前)				R3 年度	R4 年度
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度		
子どもの様子	96.8	99.5	98.3	93.2	92.1	95.1
情報提供	97.0	97.9	97.5	97.7	98.3	96.0
保育の状況	93.6	95.4	94.5	87.9	88.2	85.0
安全管理、事故防止の取り組み	94.7	95.0	97.8	97.6	98.6	96.3
全項目平均	95.4	96.7	96.6	93.3	93.5	91.8

② 利用者意見への対応、③ 苦情への対応 ④ 情報提供

- ・毎月はじめに配布する「園だより」「食事だより」などで、園の保育内容を保護者へ積極的に情報提供している。
- ・日々の送迎や連絡帳、個人懇談を通して保護者に対して園児の様子を伝えるとともに、意思の疎通を図るよう努力している。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため行事が中止になり、保育所には感謝しているが、保護者が参加する機会がなく残念だった等の意見もあり、アンケートの平均値は前年度を下回った。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営 (指定管理業務) に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われ

た場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

① 経費低減の取組

冷暖房の使用に当たっては温度調整の実施を徹底し、電灯はこまめに消すなどの節電に努めている。

指定管理料 (単位 千円)	参考(更新前)				R3年度	R4年度
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
予算	6,312	6,312	6,312	6,312	6,312	6,312
決算	5,113	5,165	5,041	5,315	4,995	5,538
決算のうち 光熱水費	1,314	1,315	1,298	1,269	1,365	1,466

② 再委託の経費

清掃、警備、設備の保守点検業務については再委託を行っているが、複数の業者の見積を比較、検討している。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

【評価の理由、要因・原因分析】

施設の性質上、保育所への入所等については行政が決定し、保育料は厚生労働省が定めた単価をもとに市で単価を定めているため、評価の対象としない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況

① 施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

【所見】

① 人員配置

配置基準に基づき、必要な保育士が配置されている。

② 職員の資質向上

各種施設外研修に積極的に参加している。また、施設内研修では、分野別リーダー会議や様々な会議や研修の報告会を数多く開催することで、職員全体で共通理解・認識を図れ、保育環境の見直しに繋げている。

③ 地域協働

例年、年長者施設の高齢者を園の行事に招待したり、小学校や保育所との交流、郷土文化伝承活動、交通安全教室やもちつき大会の地域行事やごみ拾いに取り組んだりするなど、地域

交流を積極的に行っていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、引き続き中止となった。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

- ① 個人情報の保護
 - ・個人情報の保護・管理については、法人が策定している「安全安心マニュアル」をもとに、職員に周知徹底を行っており、守秘義務については、就労規則にも規定している。
- ② 平等利用、③公平選定
 - 入所児童の選定は行政が法に基づいて行うため、適切である。
- ④ 収支状況
 - 毎年、社会福祉施設に関する指導監査や指定管理施設のモニタリングを受けており、収支内容に不適切な点は認められない。
- ⑤ 安全対策、⑥ 危機管理体制、⑦ 非常時の対応
 - ・毎月の避難訓練に加え、交通安全指導や地域活動センターと合同の総合避難訓練などを行っている。また、不審者対策に取り組むなど、子どもの安全確保に努めている。
 - ・風水害等発生、不審者侵入、避難訓練に関して対応マニュアルが作成されており、周知が図られている。

【総合評価】

【所見】

これまでの保育所運営に基づく知識や経験を生かした保育を行っている。

施設外で行われる各種研修に職員を積極的に参加させるとともに、保育士の資質向上を目的とした職員会議や研修を定期的に行い、効果的な研修となるよう、研修方法も工夫している。

「心の講和」を行うことで心身ともに健全な育ちを支え、思いやりのある子どもを育てることに繋げている。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの園行事が中止となったものの、規模を縮小して行うなど、子どもや保護者に楽しんでいただけるよう工夫して取り組んでいる。

【今後の対応】

今後とも研修等への積極的な参加により保育の資質向上に努め、子育て支援や地域との交流を行いながら地域に開かれた保育所運営を行っていただきたい。

新型コロナウイルス感染症については、引き続き、感染予防を徹底して行っていただきたい。

